

今回ウルバノはお休み。

前回のあらすじ

アラバスタートライデントにドレシッサを助けに来た開拓団は、ピカピカ光るポジティブエナジーのモンスターに何度も眼を焼かれながらもネクロな機械を操る変なアボレスを倒し、塔を上へ上へと昇って行った。そしてクロックワークの工房の先でついに噂のクロックワーク、ゾーチャットリーと出会ってしまった。

ゾーチャットリー

そこは講堂のような場所を実験室に使っていたという感じの場所だった。奥には演壇、壁沿いには実験台などが並んでいる広い空間にその一際巨大なクロックワークは待ち構えていた。弾力のある素材と金属で出来たクラークン、ゾーチャットリーは流石の強さだった。

触手で組み付いてくると予想はしていたが、内二本が特に長く離れていた後衛もあっさり捕まってしまった。しかもスミを吐き、辺りを真っ暗にしてきたためヴィクターは正確に急所を突く事が出来ず、キャスターはターゲットが取れず有効な手が打てない。もちろんゾーチャットリーはこちらの場所が分かるらしくうかつに動くこともできない (Combat Reflexes もしっかりと持っていた)。ご丁寧な事にスミに毒性 (str dmg and nauseated 要2連続成功) まで付いており、準備もリソースも足りていない一行は団長を残し壊滅してしまった。

スミにやられ階下に避難していた団長が、皆の悲鳴が止みスミが晴れた頃再び講堂を覗くと、丁度ゾーチャットリーが触手で器用に扉を開けて皆の死体を塔の外へと捨てているところだった。急いで外に出て死体を回収しようとする団長はそこで意外な人物と出会った。

それはドレシッサでなんと自力で脱出してきたらしい。一体何のためにひどい目に遭ってきたのかと思ったが、とにかく死体を回収し、ドレシッサと共にタラサントリーまで戻るとドレシッサ母、アネモラが感謝して蘇生費用をいくらか出してくれたので皆生き返る事は出来た。

鮫竜

ゾーチャットリー相手に為す術無くやられた開拓団の面々はかなり心が折れていた。それでもオチミューアのことを考えるとやはりアラバスタートライデントには行かねばならない。どうにか自分自身を鼓舞して再び立ち上がった一行であったが、しかしその前に恐るべき脅威が立ち塞がった。

タラサントリーを出立してすぐのランダムエンカウントの結果現れたのは、サメの頭を持つ超巨大な蛇だった。トレイシーが言うにはこの Cetus と呼ばれるモンスターは見た目に反して竜の一種であり、侮れない相手であるらしい。

移動中だったので長時間のバフしか掛けていないが、リソースは十分。負ける事は無いと思われた (ランダムエンカウント表のかなり低い目の方のモンスターだった) が……。

先陣を切って接敵しようとするヴィクターが念の為 acrobatics すると、やはり Combat Reflexes を持っていたらしく CMD は 66 だと言われる。高っ！当然失敗し、AoO され 99damage and grab。えっ、クリティカルしたとはいえダメージでかくないですか？しかも敵の手番で Constrict された上に Swallow -Whole されてしまう。これはまずい、大ダメージを喰らっているのに回復が出来ない。

いきなりメインアタッカーをばっくんされてしまい慌てる一行。団長の Magic Jar に一縷の望みをかけるが SR に阻まれ上手く行かない。

結局、順番に一人ずつ飲み込まれていき、Resilient Sphere に立て籠もって難を逃れた団長以外はおいしく食べられてしまった。

またも一人タラサントリーに逃げ帰った団長はリルキマタイに助けを求め、占術で Cetus の排泄物を探し借金して 4 人を Resurrection してもらったのだった。

ちなみにこの Cetus、他にも噛みつきに Freedom of Movement や Fly 等を解呪する能力があったり、判定にディスアドバンテージが付くオーラを持っていたり、Fast-Swallow や Gr. Vital Strike までもっていたりとやりたい放題のくせに CR は何とクロックワークオウムガイよりも低い 13。この モンスター を造った奴は誰だあ！

サメに比べれば

アラバスタートライデントに行くどころかランダムエンカウントで惨敗した開拓団は今度こそ本当に心が折れ、現実逃避にアンコラトー島の探索していない所を漁ることにした。もしかしたら何かいいものが眠っているかもしれない。そう考えて。

もちろんそんなわけも無く、ただ冬虫夏草みたいな植物に寄生されるも再生能力のために死ぬこともできないスクラグ(水棲トロル)を助けただけだった。

しばらく時間がたったことで落ち着きを取り戻した一行は、Cetus に比べればゾーチャットリーなぞかわいいものだという事に気づき、今度こそアラバスタートライデントを攻略することにした。ただもう海は嫌なので、アルコールが新たに神様から授かった Wind Walk の呪文で空から行くことにした。どうでもいいことだがサメこと Cetus は 1200ft. 上空までジャンプして噛みつく事が出来るらしい。この モンスター を (ry

ゾーチャットリーとの再戦は Freedom of Movement と Delay Poison を全員にかけた上に、スミ対策にイスカが Control Water を使ったのであっさりと勝利した。ゾーチャットリーの攻撃は一発 10 数 damage だったので一行の心は大変安らいだ。

Timeless demiplane

アラバスタートライデントをさらに上へと昇ると、そこには向こう側に森が広がるゲートと思しきものとイムーヴァブルロッドによって空中に固定されたひっくり返したお椀のような物体があった。何らかの魔法装置であることは明白なので団長がいろいろといじくってみると半球にくっついていたキューブが一つとれてしまった。そして、突然黄金の鎧を着た黒い巨人がレポートしてきた。

この巨人、マールートはアブダックと名乗った。その目的はリッチになって死から逃れたオーベロンに死刑を宣告することらしい。今までは魔法装置のせいでアラバスタートライデントに入る事が出来なかったが入れるようになったので来たそう。目的が一致しているので協力を頼んでみたがゲートを通れないと断られた。その代わりにゲートの先 Omen dominion について教えてくれた。

Omen dominion は昔からある demiplane でアラバスタートライデントはそもそこの demiplane へ

の入り口を囲む様に作られたらしい。この中では年を取らず、睡眠も食事もない。さらに予言の力が今でも失われずに働いている（中にいると Foresight が掛かる）そういう場所だそうだ。

一通り聞いたので意を決してゲートをくぐるとそこは森の中の道だった。風に揺れる木の葉の音も虫の声も聞こえない静寂の中を進むと巨人サイズの家があった。家の前には何も乗っていない台座のようなものがあり、近づくとそれは映像を映し出した。

映像はローブの人物を従えたオーベロンと思われる人物が3体のサイクロプスを叱りつけている様子だった。サイクロプスたちは何やら思う所があるらしくローブの人物と目配せをしていた。

ドアをノックすると出てきたのはやはりサイクロプスだった。単刀直入にオーベロンを倒すので協力して欲しいと伝えたと最初は難色を示したが、少し説得すると首を縦に振ってくれた。思った通りサイクロプス達はオーベロンに不満を持っていた。

サイクロプスから聞き出したオーベロンの居場所に向かうとオーベロン側も予期していたようで一行を待ち構えていた。オーベロンの話と先ほどのサイクロプスの話から推測するに、ごく最近ローブの人物（恐らくオチミュア）にオーベロンは騙されて世界を破壊する兵器 Domsday Machine の保管されている Compass という場所の情報とフィラクタリーを盗まれてしまったようだった。

一行はフィラクタリーを取り返して欲しいと頼まれたが、そこはかたなく狂気を感じるリッチに皆（アルコールを除く）は否定的で結局殴り殺してしまった。

なおサイクロプス達は付いてくるというので、アンコラトー島で昔助けたサイクロプスの世話を任せることにした。

Domsday Store

Ioun Stone を開発する Spindle Solution の秘密の部署 Compass。そこにはゴラリオン全土の形を変えてしまえる程の最終兵器が保管されているという。その場所は Mordant Spire のエルフ達が調査しているアンコラトー島南方の島、その中ほどの湖にあるとオーベロンの話から判明した。

Veiled Master オチミュアは開拓団に先行して既にそこに向かっていることだろう。

一行も急ぎ向かいつつニエランに報告をすると、調査は難航していると返答があった。スカムやフェイスレスストーカーの妨害が激しく、しかもどうやら Port Orchid に侵攻してきそうな様子であるらしい。

とりあえずイスカが今後の方針を決めるために占いをすると、リルキマタイに助力を求めよとのこと。借金返済の事もあるのでタラサントリーに向かうとリルキマタイは力を入れて占うと言うのでその日はタラサントリーで休むこととなった。

翌日、リルキマタイの元へ行こうとする一行の前に障害が立ちはだかった。それはあの伝説のブランクタ、Ruinquake だった。

Ruinquake は爆発してバラバラになって広範囲を攻撃してきたり、攻撃するとマグマが噴出したりと噂通りの強敵振りを発揮してきた。

しかし、サメドラゴン程の絶望感はなく、イスカとヴィクターが順当に打撃を与えていくとやがて本物の瓦礫の山へと変わった。

リルキマタイの亀甲占いは、Port Orchid 防衛は味方に任せて直接 Compass に向かうが吉と出た。

また最後に選択を迫られるので間違えてはいけないらしい。何の事だろうか？

アンコラトー島の南方の島を上空から眺めると Compass の場所は簡単に見つけられた。湖に不自然な穴が開いていて、水が流れ落ちている。その中空にはプラットフォームが浮いており、これが入り口なのだろう。降下していくとプラットフォームに小さな人影があった。

それは Wyrwood で Gardener と名乗った。その名の通りこの近くで植物を育てているのだが、最近 モンスター に荒らされて困っているとの事。ここにいたのはどうにかしてくれる相手を探しての事らしい。助けてくれれば、この入り口を起動させてくれるという。助けるのは全く吝かで無いが、今はとにかく急ぎたい。もしかしてと皆が団長を見ると、果たして団長は入り口を無理やり起動してしまった。

入った先にはあのアンコラトー島探検の初期によく見かけたアズラント人の幻影の本人がいた。ゴーストとなって。

そして、ゴーストは言った。侵入したオチミュアより先に最終兵器を停止させて欲しいと。

詳しく話を聞くと、この Compass という場所は Research, Test, Application という 3 つの Wing から成っており、それぞれの Wing に最終兵器を停止させるための鍵となる Ioun Stone があるとゴーストは教えてくれた。

開拓団はオチミュアの手下や恐らくあるであろう Compass の防衛機構を突破し、最終兵器を止める事が出来るのだろうか？

そして古代の最終兵器とは一体如何なるものなのだろうか？

続く。